

第2章 圏域の現状

1. 圏域の概要

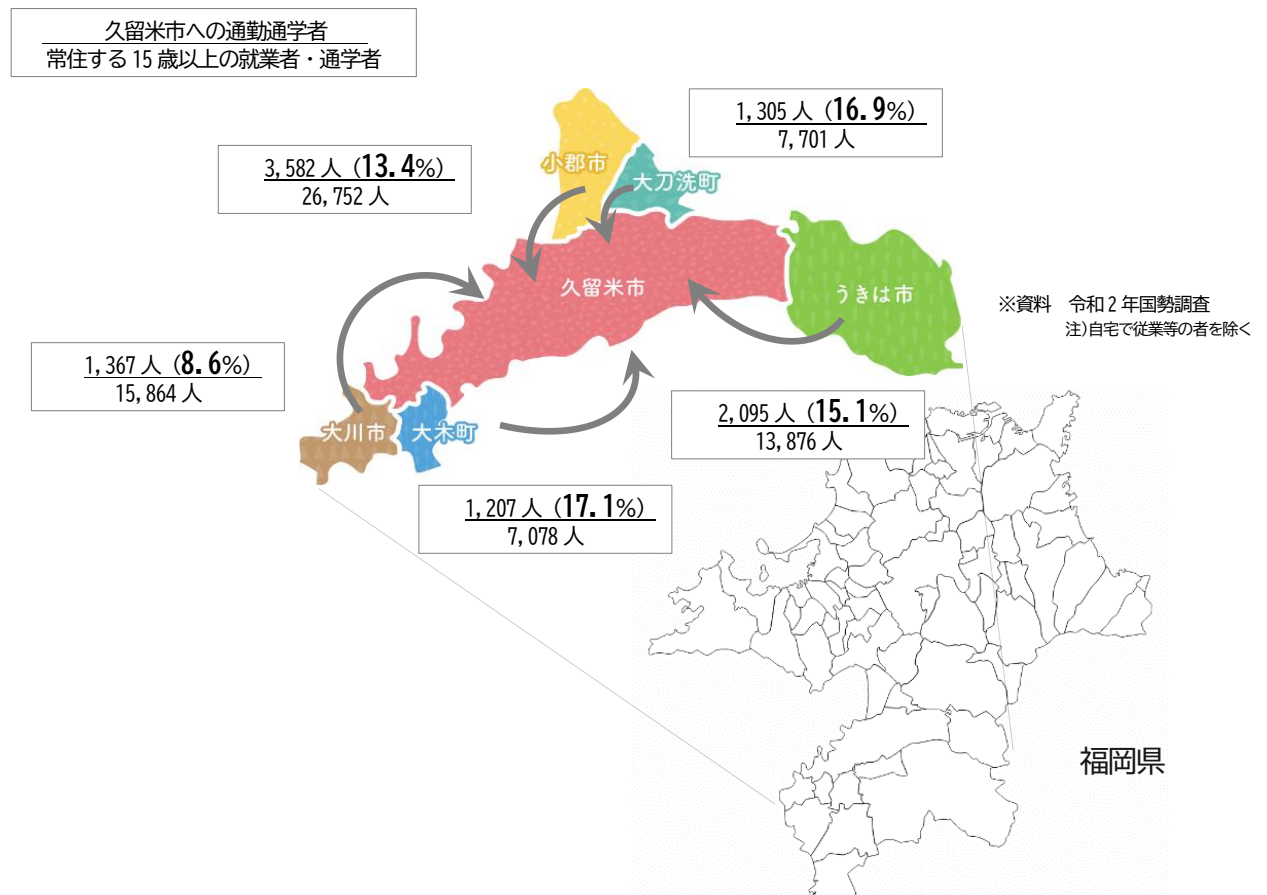
福岡県南部に位置する本圏域は、4市2町（久留米市、大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町）で構成され、東西 49.7km、南北 30.6km、総面積は約 468 km²に及び、九州最大の河川である筑後川とその支流に沿って形成された筑後平野の豊かな環境に根ざし、農業、商工業、文化の重層的な基盤を育んできました。

圏域内には九州新幹線、JR 在来線、西鉄、甘木鉄道などが走り、高速道路や主要国道が縦横に整備されています。また、福岡空港・佐賀空港へのアクセスも良好で、圏域内外との移動や物流の拠点性を高めています。この優れた交通環境のもとで、様々な強みを有する自治体が、互いに補完し合いながら、産業や暮らしの多様性を支えています。

多様な都市機能を備える本圏域では、高度医療機関や大学等の集積が見られ、圏域内外からの通勤・通学者を受け入れる中核拠点としての役割を果たしています。一方、平野部や中山間地域では、水と緑に恵まれた環境のもと、米や野菜、果樹などの農業生産が盛んで、新たに集積が進んでいるバイオや自動車関連産業などと合わせ、多様な産業が地域経済を支えています。また、全国的に知られる木工業をはじめとする加工技術や伝統工芸、地域文化を継承する産業が根付き、ものづくりの精神と創意が今も息づいています。

このような地域の多様性と結びつきの強さを背景に、都市と農村、職と住、伝統と革新をつなぐ圏域として、今後も福岡県南部の経済・文化・生活の中核を担う存在であり続けることが期待されます。

連携市町から久留米市への通勤・通学状況



2. 構成市町の概要 (QRコードから各市町の紹介ページを見ることができます)



久留米市 (中枢都市)



福岡県の南西部に位置する久留米市

県内第3位の人口を有する中核市です。

ラーメン・焼き鳥・フルーツ・日本酒などの多彩なグルメ、豊かな自然、多様な文化・芸術、充実した公共交通、安心の医療・子育て環境が魅力です。



大川市



大川市は日本有数の家具産地

伝統的な職人技を継承しながら、新たな技術やデザインを生み出しています。

歴史と自然が調和した風景と、木のぬくもりに包まれた施設での木育体験や子育て世帯を多方面から支援する、「子育て」にやさしいまち。



小郡市



豊かな緑に囲まれた子育てにも適したまち

福岡市へは電車で約30分、車で約40分といった交通利便性の良さから、福岡都市圏のベッドタウンとして発展し、豊かな緑に囲まれ、子育てにも適したまちです。





うきは、実りつづけるまちへ。

耳納連山の緑に抱かれ、白壁の町並みに歴史と文化が息づくまち、うきは市。

全国有数の果物の産地「フルーツ王国」としての実りを礎に、人と自然が寄り添い、子どもたちの笑顔が輝く未来を育てています。



広々とした筑後平野に包まれた自然豊かな町

交通のアクセスが良く「都心で働きながら、子育ては大自然の中で。」そんな暮らしができます。

また、国指定重要文化財の今村天主堂や大刀洗飛行場の戦跡など歴史も感じられます。



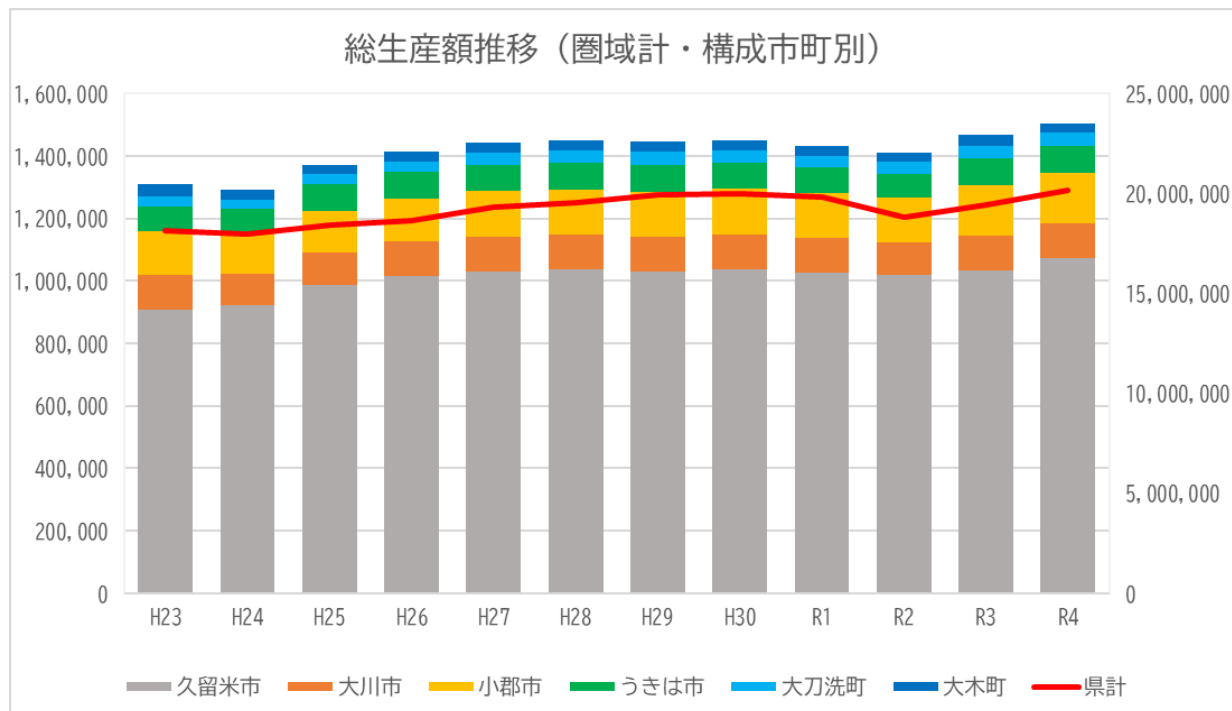
日本屈指のクリーク地帯

大木町は、福岡県の南西部に位置し、福岡市からは電車で約1時間、車で約50分の距離にあります。

町の総面積の約14%を占める堀（クリーク）が、町全体を縦横無尽に張り巡らしており、日本屈指のクリーク地帯です。

3. 圏域の総生産額

圏域内の年間総生産額は、ビジョン開始前（平成 23～27 年度）の平均約 1 兆 3,670 億円から、開始後（平成 28～令和 4 年度）平均約 1 兆 4,518 億円へと増加しました。令和 2 年度はコロナの影響もあり、一時的に落ち込んでいますが、割合にして約 5.8%の伸びで推移をしています。



※資料

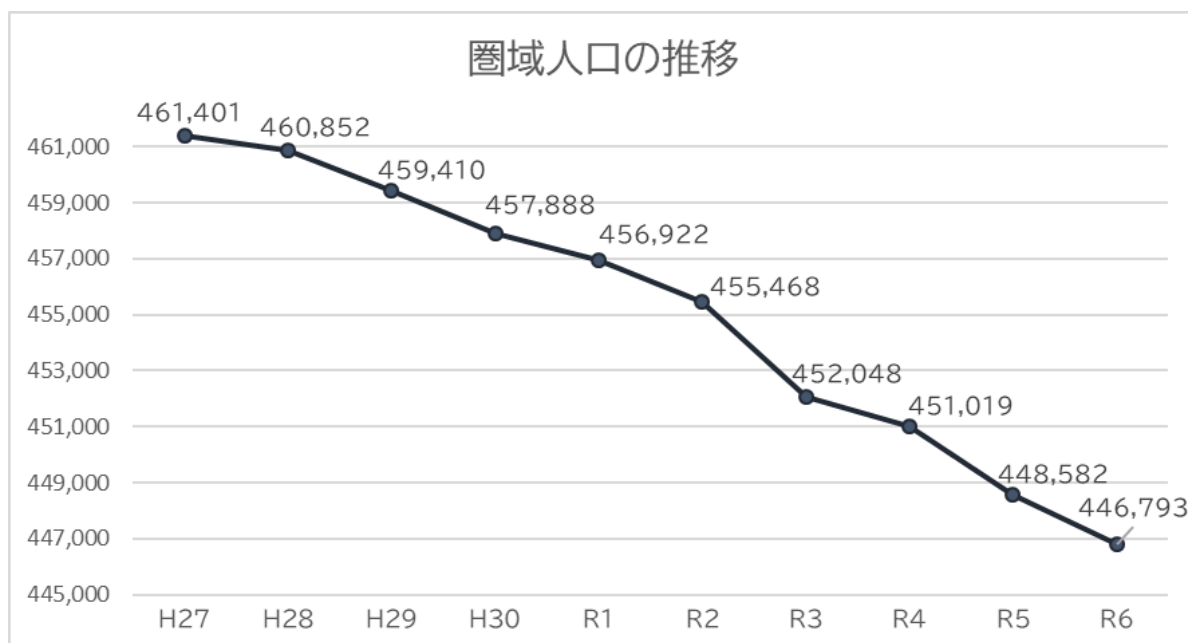
福岡県市町村民経済計算（平成 23 年～令和 4 年）

4. 圏域の人口

(1) 圏域人口の推移

本圏域の人口は、減少傾向で推移をしており、令和2（2020）年度から令和6（2024）年度で8,675人減少しています。

| 年度 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R2からR6の増減 |
|------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|
| 圏域人口 | 455,468 | 452,048 | 451,019 | 448,582 | 446,793 | -1.9% |
| 久留米市 | 304,079 | 302,122 | 301,612 | 300,516 | 299,539 | -1.5% |
| 大川市 | 33,241 | 32,541 | 32,029 | 31,450 | 30,880 | -7.1% |
| 小郡市 | 59,592 | 59,259 | 59,605 | 59,264 | 59,463 | -0.2% |
| うきは市 | 28,724 | 28,359 | 27,988 | 27,638 | 27,178 | -5.4% |
| 大刀洗町 | 15,807 | 15,860 | 15,976 | 16,047 | 16,141 | 2.1% |
| 大木町 | 14,025 | 13,907 | 13,809 | 13,667 | 13,592 | -3.1% |
| 福岡県 | 5,113,471 | 5,094,685 | 5,090,386 | 5,080,270 | 5,072,613 | -0.8% |
| 九州 | 12,884,354 | 12,803,140 | 12,739,866 | 12,662,420 | 12,581,309 | -2.4% |
| 全国 | 126,654 | 125,928 | 125,417 | 124,885 | 124,330 | -1.8% |



※資料

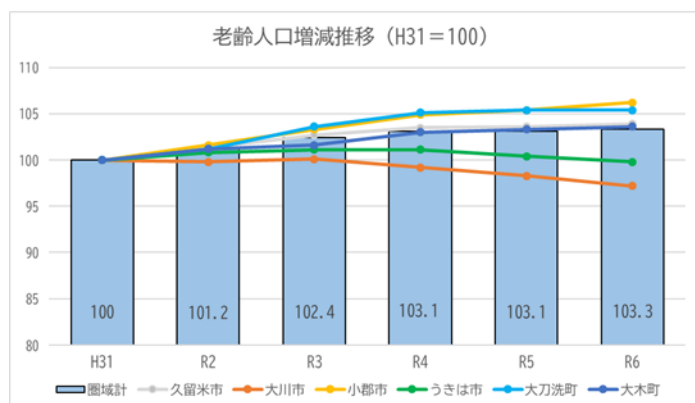
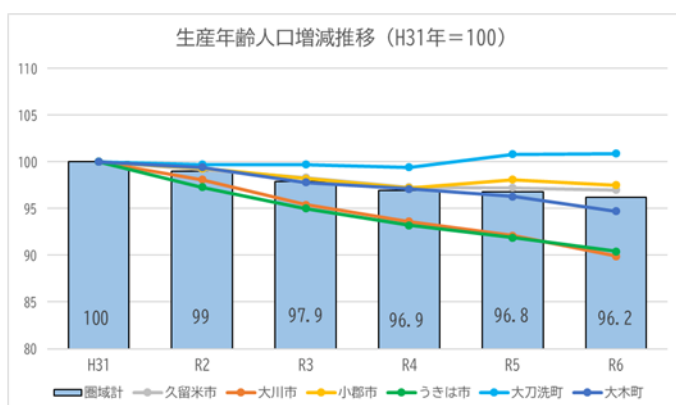
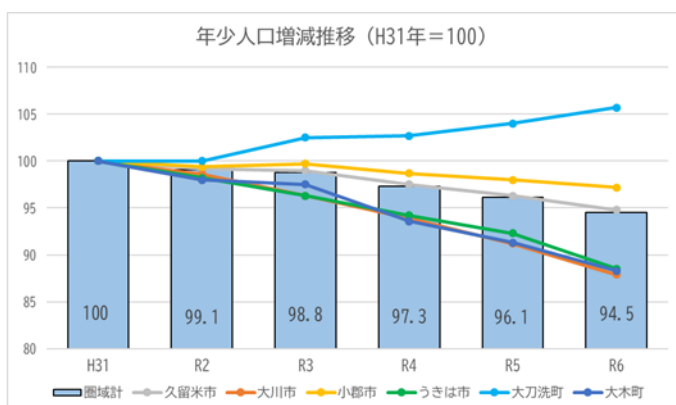
圏域及び福岡県：「福岡県住民基本台帳月報」（各年度末日）

九州及び全国：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（各年1月1日）

(2) 人口構成

本圏域の年齢3区分人口を表に示します。年少人口と生産年齢人口は、一部の自治体で増加傾向にあるものの、圏域全体としては、減少傾向が続いています。一方で、老年人口は、圏域全体で右肩上がりに伸びています。

| | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 年少人口 | 62,372 | 62,189 | 61,249 | 60,477 | 59,462 |
| 生産年齢人口 | 267,047 | 264,000 | 261,271 | 260,944 | 259,480 |
| 老年人口 | 128,741 | 130,266 | 131,244 | 131,229 | 131,449 |
| 計 | 458,160 | 456,455 | 453,764 | 452,650 | 450,391 |



※資料

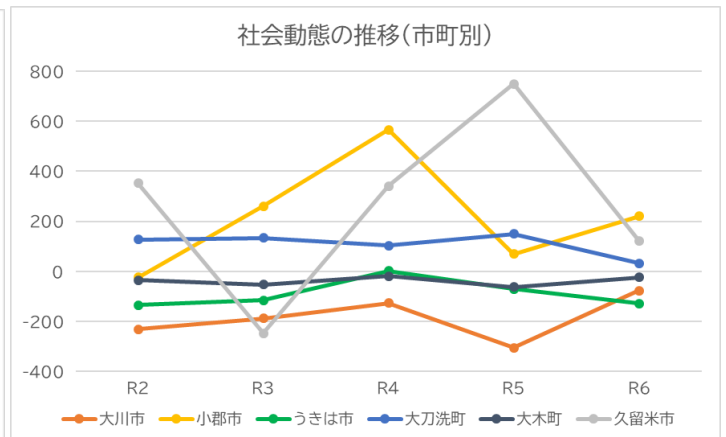
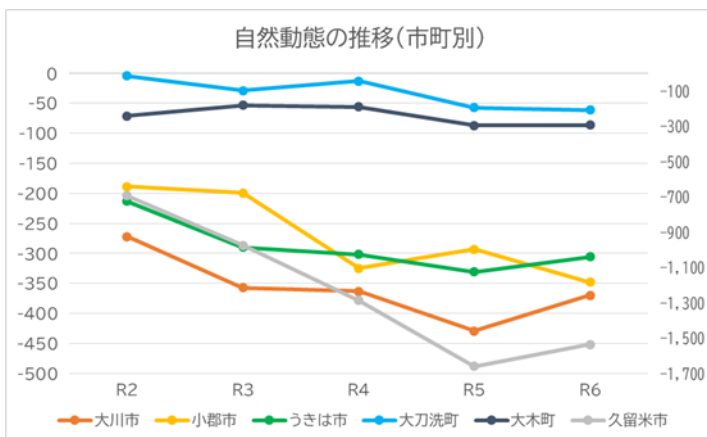
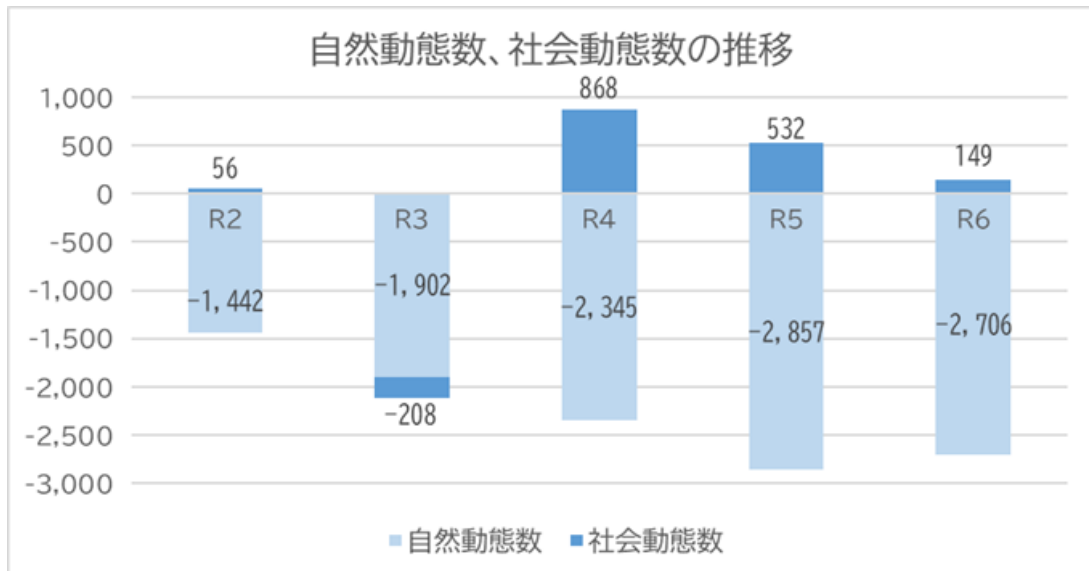
福岡県「住民基本台帳年報（各年1月1日）」

(3) 人口動態

①自然動態と社会動態

令和6年の自然動態については、2,706人の減少であり、令和2年から一貫して、減少傾向で推移しています。社会動態は令和3年を除いて、転入超過となっているものの、令和6年の増加は149人と、令和4年以降は増加幅が縮小しており、人口動態としてみると、圏域全体として減少傾向が続いています。

| 年度 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R2からR6の増減 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|
| 出生数 | 3,572 | 3,356 | 3,316 | 3,060 | 2,988 | -16.3% |
| 死亡数 | 5,014 | 5,258 | 5,661 | 5,917 | 5,694 | 13.6% |
| 自然動態数 | -1,442 | -1,902 | -2,345 | -2,857 | -2,706 | |
| 転入者数 | 18,178 | 17,863 | 19,548 | 19,051 | 18,480 | 1.7% |
| 転出者数 | 18,122 | 18,071 | 18,680 | 18,519 | 18,331 | 1.2% |
| 社会動態数 | 56 | -208 | 868 | 532 | 149 | |
| 人口動態 | -1,386 | -2,110 | -1,477 | -2,325 | -2,557 | |

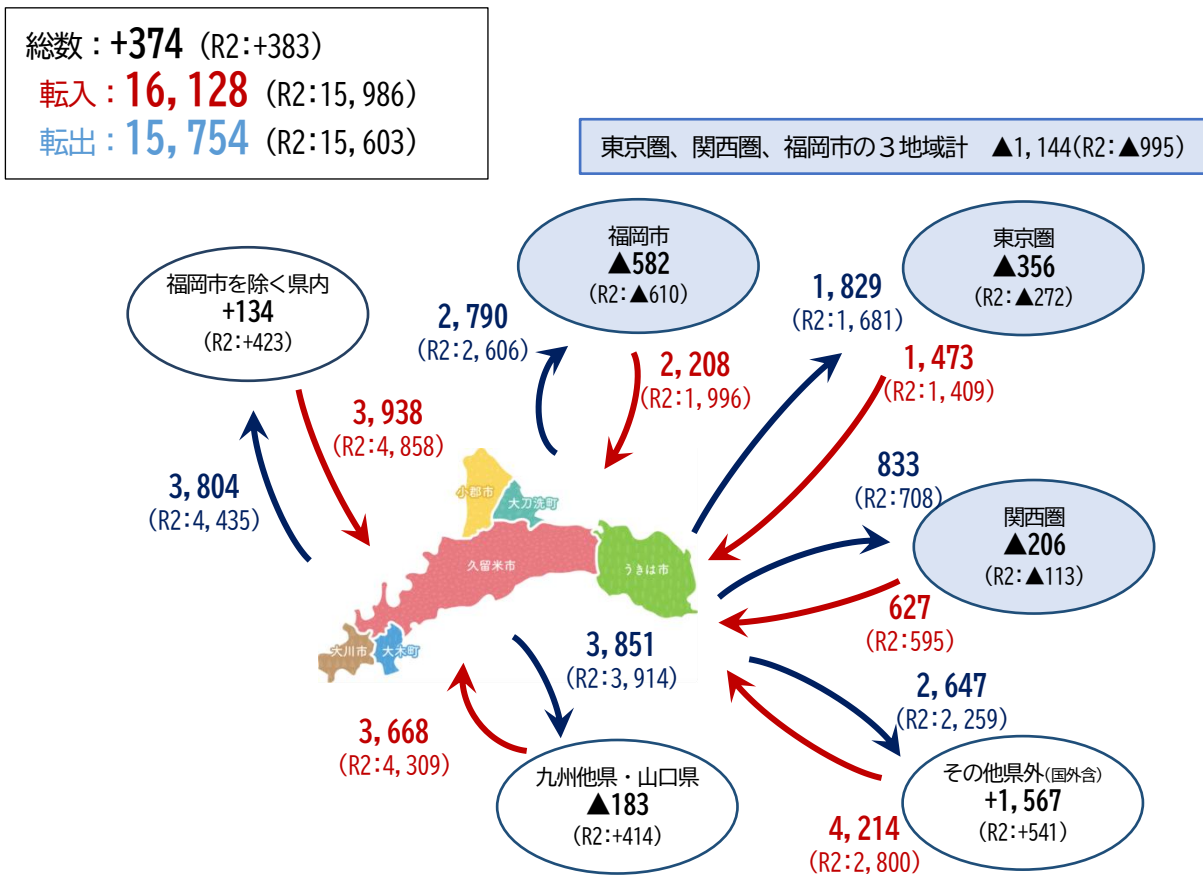


※資料

福岡県「第4表 人口移動調査、第6表市区町村別自然増加及び出生・死亡者数」

②転出入の状況 (令和5年10月～令和6年9月/単位:人)

大都市圏に対して、転出超過の状況が続いています。令和2年と令和6年の比較では、転入、転出ともに増加しており、福岡市への転出超過が東京圏や関西圏を上回っている状況です。一方で国外を含むその他県外の転入者は大幅に増加しており、特に国外からの転入者数は2,185人で令和2年から1,023人増加をしています。



※資料

福岡県の人口と世帯年報 (令和2年・令和6年) 第12表

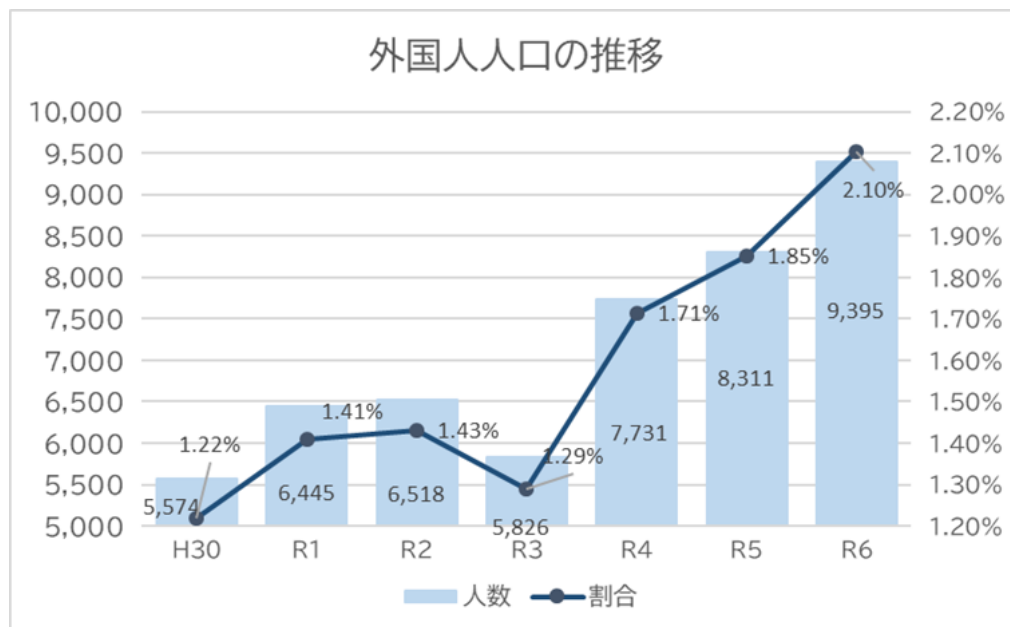
注) 転出先・転入元不明者及び職権消除・職権記載者を除くため、合計値は(3)の社会増減数と一致しない

注) 「東京圏」は東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、「関西圏」は京都府、大阪府、兵庫県、奈良県を指す

(4) 外国人の年度別推移

本圏域の外国人住民は、新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に減少したものの、増加傾向です。

| 年度 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R2からR6の増減 |
|-----|--------|--------|--------|--------|---------|-----------|
| 圏域計 | 6,518 | 5,826 | 7,731 | 8,311 | 9,395 | 44.1% |
| 県計 | 79,957 | 73,366 | 87,646 | 97,834 | 112,257 | 40.4% |



※資料

福岡県「住民基本台帳月報」(各年度末日)

5. 都市機能

(1) 高等教育機関・研究機関・産業支援機関

①大学、高等専門学校と学生数

| 分類 | 名称 | 学部・学科 | 学生数(人) |
|----------|-------------|---------------|--------|
| 大学 | 久留米大学 | 文学部 | 1,287 |
| | | 人間健康学部 | 524 |
| | | 法学部 | 1,178 |
| | | 経済学部 | 1,151 |
| | | 商学部 | 1,119 |
| | | 医学部 | 1,295 |
| | | 留学生別科 | 32 |
| | | 研究生 | 3 |
| | | 科目等履修生 | 27 |
| | | 専攻科 | 1 |
| | | 久留米工業大学 | 工学部 |
| | 聖マリア学院大学 | 看護学部 | 379 |
| | | 専攻科 | 10 |
| 国際医療福祉大学 | 福岡保健医療学部 | 894 | |
| | 福岡薬学部 | 597 | |
| 高等専門学校 | 久留米工業高等専門学校 | 機械工学科 | 216 |
| | | 電気電子工学科 | 205 |
| | | 制御情報工学科 | 214 |
| | | 生物応用化学科 | 210 |
| | | 材料システム工学科 | 211 |
| | | 機械・電気システム工学専攻 | 51 |
| | | 物質工学専攻 | 33 |
| 合計 | | | 10,920 |

※資料

福岡県「令和6年度教育便覧」

②専修学校

名称

大川看護福祉専門学校／久留米医師会看護専門学校／久留米歯科衛生専門学校／久留米大学医学部附属臨床検査専門学校／古賀国際看護学院／専修学校久留米ゼミナール／専門学校久留米ドレスメーカー女学院／高尾看護専門学校／平岡栄養士専門学校／平岡介護福祉専門学校／平岡調理・製菓専門学校／福岡南美容専門学校

※資料

福岡県「令和7年度私立専修学校名簿」

③研究機関・産業支援機関等

| 分類 | 名称 |
|----|---|
| 国 | (独) 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター【久留米研究拠点】 国土交通省九州地方整備局九州技術事務所 |
| 県 | 福岡県工業技術センター 生物食品研究所 福岡県工業技術センター インテリア研究所(大川市) 福岡県農林業総合試験場資源活用研究センター 福岡県農林業総合試験場 筑後分場 |
| 民間 | (一財) 化学物質評価研究機構 久留米事業所 (株) 久留米リサーチパーク ・福岡バイオインキュベーションセンター ・福岡バイオファクトリー ・福岡バイオノベーションセンター 久留米ビジネスプラザ ・久留米知的財産支援センター |

(2) 文化・観光施設等

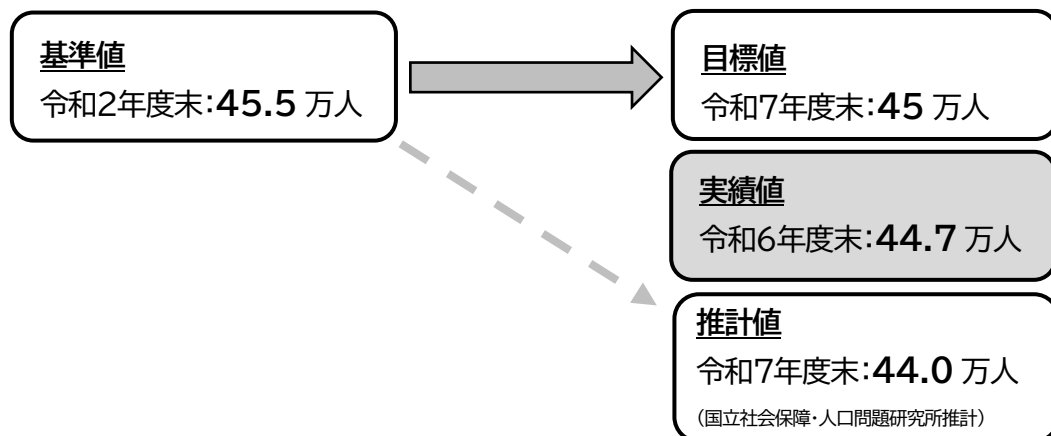
| 分類 | 市町名 | 名称(主なもの) |
|-----------------------------|------|---|
| 文化施設 | 久留米市 | 久留米シティプラザ/石橋文化ホール/田主丸複合文化施設/城島総合文化センター/ えーるピア久留米 |
| | 連携市町 | 大川市文化センター(大川市)/小郡市文化会館(小郡市)/ うきは市文化会館(うきは市)/大刀洗ドリームセンター(大刀洗町) など |
| 美術館、博物館、 資料館等 | 久留米市 | 福岡県青少年科学館/久留米市美術館/久留米文化財収蔵館/ 久留米市埋蔵文化財センター/有馬記念館/青木繁旧居/ 坂本繁二郎生家/草野歴史資料館/山辺道文化館/ 久留米市世界のつばき館/六ツ門図書館展示コーナー |
| | 大川市 | 大川市立清力美術館/古賀政男記念館/旧吉原家住宅 |
| | 小郡市 | 九州歴史資料館/小郡市埋蔵文化財調査センター/ 旧松崎旅籠油屋 |
| | うきは市 | 浮羽歴史民俗資料館/吉井歴史民俗資料館 |
| 図書館 | 久留米市 | 久留米市立中央図書館/久留米市立六ツ門図書館/ 久留米市立田主丸図書館/久留米市立北野図書館/ 久留米市立城島図書館/久留米市立三瀬図書館 |
| | 連携市町 | 大川市立図書館/小郡市立図書館/うきは市立図書館/大刀洗町立図書館/ 大木町図書・情報センター 移動図書館:2台(久留米市、小郡市) |
| | 久留米市 | 久留米総合スポーツセンター |
| スポーツ施設 | 連携市町 | 筑後川総合運動公園(大川市)/小郡運動公園(小郡市)/うきはアリーナ(うきは市)/ 大刀洗運動公園(大刀洗町) など |
| 百貨店、大型商業施設 (従業員数50人以上) | 久留米市 | 久留米岩田屋/ゆめタウン久留米/くるめりあ六ツ門 |
| | 連携市町 | ゆめタウン大川/イオン小郡ショッピングセンター など |
| 主な観光資源 | 久留米市 | 筑後川/宝満川/耳納連山/櫛並木/浅井の一本桜/コスモス街道/ 山苞の道/水天宮/高良大社/梅林寺/久留米城跡/草野の町並み |
| | 大川市 | 筑後川昇開橋/風浪宮/小保・榎津藩境のまち |
| | 小郡市 | 七夕神社、如意輪寺 |
| | うきは市 | つづら棚田/浮羽稲荷神社/白壁土蔵の町並み/みどりの里・耳納風景街道(久留米市) |
| | 大刀洗町 | 今村天主堂教会 |
| | 大木町 | 道の駅おおき |
| コンベンション施設 (収容人数1,000人以上) | 久留米市 | 久留米シティプラザ/石橋文化ホール |
| | 大川市 | 大川市文化センター |

6. 第2期ビジョンの成果と課題

(1) 目標人口に対する実績と評価

第2期ビジョンの人口展望においては、令和7年度末における目標人口（住民基本台帳）を45万人に、令和27年度末の人口展望を41万人に設定していました。

これに対し、令和6年度末における圏域人口は44.7万人であり、目標値である45万人を下回っているものの、推計値を上回っています。



(2) 圏域の人口の推移（再掲）

| 年度 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R2からR6の増減 |
|------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|
| 圏域人口 | 455,468 | 452,048 | 451,019 | 448,582 | 446,793 | -1.9% |
| 久留米市 | 304,079 | 302,122 | 301,612 | 300,516 | 299,539 | -1.5% |
| 大川市 | 33,241 | 32,541 | 32,029 | 31,450 | 30,880 | -7.1% |
| 小都市 | 59,592 | 59,259 | 59,605 | 59,264 | 59,463 | -0.2% |
| うきは市 | 28,724 | 28,359 | 27,988 | 27,638 | 27,178 | -5.4% |
| 大刀洗町 | 15,807 | 15,860 | 15,976 | 16,047 | 16,141 | 2.1% |
| 大木町 | 14,025 | 13,907 | 13,809 | 13,667 | 13,592 | -3.1% |
| 福岡県 | 5,113,471 | 5,094,685 | 5,090,386 | 5,080,270 | 5,072,613 | -0.8% |
| 九州 | 12,884,354 | 12,803,140 | 12,739,866 | 12,662,420 | 12,581,309 | -2.4% |
| 全国 | 126,654 | 125,928 | 125,417 | 124,885 | 124,330 | -1.8% |

(3) 施策分野ごとの評価

施策分野1 圏域全体の経済成長のけん引

| 成果指標(KPI) | | 基準値 | 目標値 | | R4 | R5 | R6 | R6進捗 |
|-----------------|----------|---------------------|---------------------|---|---------------------|---------------------|---------------------|------|
| けん引成長の 経済成長の | ①圏域の総生産額 | 14,063億円 (H30年度) | 14,300億円 (R7年度) | ☞ | 14,276億円 (R2年度) | 14,673億円 (R3年度) | 15,048億円 (R4年度) | ○ |
| | ②圏域の労働者数 | 123,665人 (R2年度末) | 131,600人 (R7年度末) | ☞ | 124,828人 (R4年度末) | 124,878人 (R5年度末) | 123,552人 (R6年度末) | × |

①KPIの達成状況

圏域の総生産額については、目標値14,300億円に対して、令和6年度実績では15,048億円と目標値を上回る結果となり、コロナ禍を経て、経済社会活動の正常化が進んだと言えます。

一方で、圏域の労働者数は、基準値123,665人からほぼ横ばいで推移していましたが、令和6年度の実績においては、目標達成までは努力を要する結果となりました。

②取組の実績と課題

<実績>

圏域の経済を支える地場企業を支援するために、社会情勢を踏まえ、先進事例の共有や研修会を実施しました。また、コロナ禍後の雇用情勢が改善する中、企業の人材確保と求職者の就職支援として、合同会社説明会などを開催し、求職者として圏域市町から参加がありました。さらには、創業しやすい環境の整備のために関係機関と連携し、創業支援施設「くるめ創業ロケット」を活用したセミナーの開催や相談体制の整備を行うことで、圏域市町の創業希望者の様々な課題に対応した指導や助言等を行いました。

圏域全体への戦略的な誘客に向け、圏域の観光資源の磨き上げや観光商品の造成などに取り組み、圏域市町が持つ観光資源を体験型の観光商品「まち旅博覧会」に一体的にラインナップし、広域観光連携推進事業でモデルルートの造成やデジタルサイネージを活用した効率的な情報発信を行いました。また、令和5年度から運用を行っている「久留米広域ウェルビーイングナビ」（ポータルサイト）を活用し、圏域の特産品やふるさと納税返礼品が抽選で当たるプレゼント企画を実施することで、圏域の認知度向上やコロナ禍を経て回復傾向にある来訪者獲得のきっかけづくりに繋がりました。

<課題>

原材料費の高騰や生産年齢人口の減少による人材不足が深刻化しており、地場企業の事業継続に必要な人材の確保が課題となっています。こうした課題に対し、圏域の各市町が地域企業の状況に応じた取組ができるよう、連携した地域経済の分析や地元就職につなげる取組が必要です。

圏域の来訪者獲得に関しては、圏域が持つ魅力向上のために新たな魅力の掘り起こしや、圏域市町の特色ある観光資源の一体的な発信が必要です。また、物産展やプレゼント企画を実施しましたが、地場産品等の販路拡大までには至っておらず、大都市圏に向け、ポータルサイトを活用した継続的な取組を進めていく必要があります。

施策分野2 高次の都市機能の集積・強化

| 成果指標(KPI) | 基準値 | 目標値 | | R4 | R5 | R6 | R6進捗 | |
|-------------------------------|-----------------|---------------------|--------------------|----|--------------------|--------------------|--------------------|---|
| 高次 の都市 機能の 強化 の集積 | ③久留米シティプラザ入館者数 | 552,646人 (H30年度) | 612,800人 (R7年度) | ☞ | 350,290人 (R4年度) | 451,121人 (R5年度) | 557,584人 (R6年度) | × |
| | ④アザレアネット参加医療機関数 | 272施設 (R2年度) | 295施設 (R7年度) | ☞ | 289施設 (R4年度) | 297施設 (R5年度) | 311施設 (R6年度) | ○ |
| | ⑤久留米市美術館の入館者数 | 85,885人 (H30年度) | 86,000人 (R7年度) | ☞ | 52,282人 (R4年度) | 64,006人 (R5年度) | 52,339人 (R6年度) | × |

①KPIの達成状況

「高次の都市機能の集積・強化」の指標について、久留米シティプラザ入館者数と久留米市美術館の入館者数はコロナ禍の影響などにより、目標値には近づいているものの、基準値を下回るものもあります。アザレアネット参加医療機関数は順調に増加し、令和5年度には目標値を達成しました。

②取組の実績と課題

<実績>

圏域の文化芸術の発信・活動拠点施設である久留米シティプラザで開催されるイベントの圏域住民向けチケット先行販売や、たまがる大道芸の圏域市町でのプレ事業を実施しました。久留米市美術館では、圏域市町の中学生を対象とした美術鑑賞バスツアーを実施するなど、都市機能を活かした各種事業の展開により、圏域全体の賑わいや圏域住民の文化芸術に触れる機会の創出に取り組みました。

また、アザレアネットの安定的・持続的な運用のため、関係機関と必要な調整を行うことに加え、医療分野と介護分野の情報連携をアザレアネットのシステムを介して行う取組の検討を開始しました。

<課題>

久留米シティプラザや久留米市美術館は様々な取組を進めてきたものの、圏域の文化芸術や賑わいづくりの拠点として、拠点機能を発揮する取組をさらに行う必要があります。

また、アザレアネットは診療情報の共有による診療の効率化だけではなく、医療分野と介護分野の連携の必要性が高まっており、対応が求められています。

今後更なる人口減少が見込まれる中において、県南エリアの中心地域として、都市機能の集積を活かして、圏域の活力と住民の利便性向上を図っていく必要があります。

施策分野3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上分野

| 成果指標(KPI) | 基準値 | 目標値 | | R4 | R5 | R6 | R6進捗 | |
|---------------|-------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|----|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---|
| 生活関連機能サービスの向上 | ⑥病院群輪番制の運用状況 | 365日/年 (R2年度) | 365日/年 (R7年度) | ☞ | 365日/年 (R4年度) | 365日/年 (R5年度) | 365日/年 (R6年度) | ○ |
| | ⑦総人口に対する年少人口割合 | 13.60% (R2年1月) | 13.50% (R7年1月) | ☞ | 13.50% (R4年1月) | 13.40% (R5年1月) | 13.20% (R6年1月) | × |
| | ⑧観光入込客数 | 10,558千人/年 (R1年) | 10,700千人/年 (R7年) | ☞ | 6,658千人/年 (R3年) | 7,920千人/年 (R4年) | 9,028千人/年 (R5年) | × |
| | ⑨鉄道乗降客数 | 44,067千人/年 (R1年度) | 44,067千人/年 (R7年度) | ☞ | 35,234千人 (R3年度) | 38,959千人 (R4年度) | 40,603千人/年 (R5年度) | × |
| | ⑩路線バス乗降客数 | 10,124千人/年 (R1年) | 10,124千人/年 (R7年) | ☞ | 7,577千人/年 (R3年) | 8,335千人/年 (R4年度) | 8,618千人/年 (R5年度) | × |
| | ⑪圏域への転入者数 | 19,494人/年 (H30.10月～R1.9月) | 21,400人/年 (R6.10月～R7.9月) | ☞ | 19,548人/年 (R3.10月～R4.9月) | 19,051人/年 (R4.10月～R5.9月) | 18,480人/年 (R5.10月～R6.9月) | × |
| | ⑫講演会・研修会への連携市町職員の延べ参加人数 | 313人/4年 ※78.25人/年 (H29～R2年) | 350人/4年 ※87.5人/年 (R4～R7年) | ☞ | 21人/年 (R4年) | 33人/年 (R5年) | 18人/年 (R6年) | × |

①KPIの達成状況

「生活関連機能サービスの向上」の指標の観光入込客数、鉄道乗降客数などについては、コロナ禍に基準値よりも減少し、その後、コロナ禍前のレベルまでは戻り切れていません。また、総人口に対する年少人口割合と圏域への転入者数についても、令和6年度の実績においては、目標達成までには努力を要する結果となっています。

②取組の実績と課題

<実績>

地域医療や子育て支援、地域振興、公共交通など多岐の分野に渡って様々な取組を進め、圏域住民の利便性向上を図りました。

具体的には、小児救急センターの運営支援や子育て支援施設の相互利用など、関係団体とも連携をしながら事業に取り組みました。また、電子図書館については、圏域市町での連携によるスケールメリットを活かした効率的な導入・運用を実現しました。

さらに、圏域市町間での共通の課題であるICTの活用や電力スマート化、災害対応、外国人住民の暮らしやすさの向上などのノウハウの共有等に取り組み、効率的な行財政の運営及び人材の育成・確保など圏域マネジメント能力の強化を進めました。

<課題>

人口減少社会において人材不足も顕著になりつつある中で、圏域住民の利便性向上のために、行政サービスの相互・共同利用をはじめ、デジタル化や防災、公共交通の維持確保などの課題解決には圏域で連携した取組がより効率的で効果的な面があり、さらに検討を進める必要があります。また、圏域内にある多様な地域資源を活かして、さらなる圏域の活性化につなげていくことも重要です。

さらには、中長期的な視点に立った公共インフラの維持・活用、専門人材の確保・育成などの効率的な行財政運営へ向けた取組などについて検討していく必要があります。

(4) 総括

| 進捗度 | R4 | R5 | R6 | 判断基準 |
|-----|-----------|-----------|-----------|--------------------|
| | 件数 | 件数 | 件数 | |
| ○ | 3 (25.0%) | 3 (25.0%) | 3 (25.0%) | 目標を達成している、ほぼ達成している |
| △ | 3 (25.0%) | 2 (16.7%) | 0 (0.0%) | 目標に近づいている |
| × | 6 (50.0%) | 7 (58.3%) | 9 (75.0%) | 目標達成まで努力を要する |
| — | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 現時点では判断が困難(実績なし) |
| 計 | 12 | 12 | 12 | |

①KPIの達成状況

各KPIの達成状況を見ると、令和6年度においては、「目標値を達成している」「ほぼ達成している」が3件（25%）という結果であり、順調に目標値に近づいた項目や令和6年度実績の時点で達成済の項目があるものの、昨今の社会情勢の影響を受け、「目標達成まで努力を要する」ものが7割を超えています。

少子高齢化・人口減少の進展、コロナによる生活や就労形態の変化などがKPIの達成状況に与えている影響も大きいと考えられますが、その一方で、観光や賑わいなどはコロナ前に戻りつつあります。圏域全体の魅力向上や活力維持に向けて、社会情勢や圏域の課題を踏まえながら、より一層連携を深め、取組を進めていくことが重要となります。

②取組に対する全体評価

第2期ビジョンでは、第1期に引き続き、福岡県南地域における経済・文化の中心地域として自主自立的に発展可能な圏域づくりを進めるため、4市2町が連携しながら39の関連事業を展開してきました。

具体的には、第2期ビジョンから新たにポータルサイト構築や圏域市町の共同物産展の開催、広域観光ルートの造成など圏域の豊かな資源を活用し圏域の魅力を圏域内外に発信するとともに、電子図書館システムの共同運用、市民活動活性化事業、圏域市町合同での空き家相談会の開催に取り組みました。

圏域の生活機能強化を図る分野では、第1期から継続して取り組んでいる小児救急センターの運営支援事業や子育て支援に加え、新たにICT活用推進に係る取組、災害対応に係るノウハウの共有などを圏域市町で連携し進めてきました。

このように、圏域の持つ強みを活かし、課題を補い、様々な環境の変化に対応する取組を進め、圏域の将来像として描いた「住み続けたい、暮らしてみたい、訪れてみたい」と実感できる魅力あふれる圏域づくりに向けて、一定の成果があったものと考えています。

一方で、そうした圏域での取組の成果が住民等と共有できていない面もあり、各市町連携して取組の周知を行っていく必要があります。

今後、少子高齢化・人口減少に伴う人口構造の変化や様々な分野での人材不足、また、気候変動に伴う災害リスクの高まり、デジタル化の進展など、社会環境やニーズはさらに大きく変化していくことが見込まれます。こうした中で、単独の自治体だけでは、解決が難しい課題への対応や福岡県南の中心地域としての拠点性の維持を図り、連携中枢都市圏の取組を圏域の実情に合わせて深化させていく必要があります。